

藍の都

地域の方々と共に育む、
当院がお届けする健康だより

いるか通信



A I N O M I Y A K O D O L P H I N N E W S L E T T E R

INDEX

- P.1 •新型コロナウイルスに打ち勝つ地域へ
- P.2 •円滑な新型コロナワクチン接種に向けての取り組み
- P.3~4 •脳神経外科 副部長就任のご挨拶
- P.5 •新職位のスタッフコラム
- P.6 •勤務の長いスタッフコラム
- P.7~8 •中国(四川省)出身の看護師のご紹介
•杭州レポート
- P.9 •パワ☆リハ
- P.10 •高知の田舎らしさを忘れずに
- P.11~12 •彩りの都 介護事業部の紹介
- P.13 •六甲山を歩く、走る
- P.14 •病診連携でお世話になっている
Drのご紹介
- P.15 •理事長ご挨拶



山平循環器部長 カテーテル治療



上矢状静脈洞閉塞に対する脳血管内手術
矢野副部長執刀:当院所属脳血管内治療学会専門医5名合同手術

令和2年11月 脳卒中学会から
脳卒中センターコア施設
(地域の脳卒中センターのコア施設)
に認定いただいています

社会医療法人ささき会 所属専門医数

- 日本脳卒中の外科学会 技術指導医6名
- 日本脳神経外科学会 常勤専門医9名(内 指導医2名)
- 日本脳卒中学会 常勤専門医7名(内 指導医5名)
- 日本脳神経血管内治療学会 常勤専門医6名(内 指導1名)
- 日本脊髄外科学会 認定医3名



新型コロナウイルスに 打ち勝つ地域へ



皆さん、コロナワクチン接種はお済でしょうか？
ワクチン接種会場で受付をしています矢野と申します。
幼少期より榎本地区在住で、本業は薬剤師です。今回は
話題となっていますワクチンについてお話を書かせて
頂きます。

一度感染した病原体には二度目は感染しない、
もしくは感染しても軽症で済むことは古くから知られて
おり、「疫(えやみ=やまい)」から「免れる」免疫と
言われています。

この免疫を得る為に、昔は感染した人から得た病原
体を接種することも行われていましたが、時に感染が
重症化し命を奪われることもあったようです。安全に
免疫を獲得することが出来ないかと考えたイギリス
の医師ジェンナーが、1796年にヒトの天然痘の予防
接種に牛痘(牛の天然痘)を用いて安全性と有効性を
示し、これが世界中に広まって約200年後の1980年
に天然痘は地球上から撲滅されました。ジェンナーが
最初に雌牛(ラテン語でVacca)から弱毒化した病原体
を得たことからVaccination:ワクチンと名付けられ、
狂犬病、コレラ、ジフテリア、インフルエンザなど、多く
のワクチンが開発されました。

一昨年より猛威を振っている新型コロナウイルス
感染症との闘いの切り札として、コロナワクチンが
開発され、世界中で予防接種がすすんでいます。コロナ
ワクチンは弱毒化した病原体そのものではなく、病原
体の遺伝情報の一部をワクチンとして利用する新たな
手法で作られています。

ジェンナーが200年前に牛痘をヒトに接種した際、
様々な風評が出回り苦労したと言われていますが、今回
のコロナウイルスに対するRNAワクチンも同様で、

色々な情報が飛び交い接種を不安に思う人も多かつた
のではないのでしょうか。ジェンナーがまず最初に我が
子やジェンナー家で働く人のお子さんに天然痘ワクチン
を接種し、安全性や有効性を示したことは有名な逸話
ですが、佐々木院長も当院でのコロナワクチンをまず
ご自身に接種し、安全性や有効性を院内の職員に示し、
院内から地域へと接種を広げました。その接種会場
として地域の人々の集いの場である榎本福祉会館を
利用しました。

榎本福祉会館は、内閣総理大臣賞を受賞するほど、
榎本の地域活動の総本山です。また、地域の人々が
集まって話をする「あいより」という会も定期的に開
かれています。「青は藍より(あいより)出でて、藍
より(あいより)青し」と呼ばれるように、「あいより」
と「藍の都脳神経外科病院」からワクチン接種が地域
に浸透することにより、コロナウイルスに強い地域と
なることを願ってやみません。



理事長補佐
薬剤部 科長
矢野 千寿子
(勤続11年目)

円滑な新型コロナワクチン接種に 向けての取り組み



医事課 課長の桑原史成と申します。医事課の仕事
内容は、簡単に上げると患者様の受付業務と
請求業務が主な役割です。

今回の新型コロナワクチン接種に際しても、
希望者の受付から問診表のチェック、そして請求
業務と多くの役割がありました。

当初、ワクチン接種に関して様々な情報があり、
予約をどのように取っていくか混乱しました。
国や自治体からの情報提供が遅く、誰がいつから
接種できるか、ぎりぎりまで病院にも情報が伝わる
ことがなく、接種受付を開始すると想像以上の
電話が鳴り、予約を取るのに多くの時間と人を
費やさないといけない状況となりました。

当院では院長指示の下、地域の住民の方々のため
にも接種を広げていく方針となり、予約システム
も構築が急務な状況でした。そこで、先行して開始

された大阪府の医療従事者用のLINE予約システム
を利用することを院長に了承いただき予約を開始
しました。

そのおかげで多くの方のワクチン予約を短時間
に取ることができ、現在では1時間に1,000件の
予約が入る日もあります。また、場所も病院前の
榎本福祉会館をお借りし、多くの方を受け入れる
ことが出来ました。この原稿を書いている時点でも
ワクチン接種の問合せが多く、今後もできる
限り多くの人に迅速に接種できる体制を続けて
いきます。



理事長補佐
医事課 課長
桑原 史成
(勤続5年目)



今後はワクチン接種を中心に様々な
情報も発信していきますのでLINE
のお友達登録をお願いいたします。



藍の都
脳神経外科病院
LINEアカウント

榎本福祉会館での 集団接種の様子

入口での受付と検温



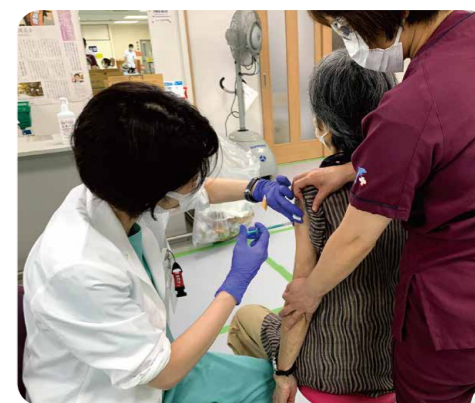
待機の様子



佐々木院長による問診



ワクチン接種風景



脳神経外科 副部長 就任のご挨拶



脳神経外科／脳血管内治療科
副部長
佐藤 公俊
出身大学：北里大学
日本脳神経外科学会専門医・指導医
日本脳卒中の外科学会技術指導医

本年8月に着任いたしました、脳神経外科の佐藤公俊と申します。私は、平成12年に北里大学医学部を卒業した後、卒後臨床研修必修化前の当時はまだめづらしかったのですが、まず全人的医療を学ぶべく、大学の医局には属さずに沖縄県立中部病院というところでインターン・初期臨床研修を行いました。その後、平成14年に北里大学脳神経外科に入局し、国立循環器病センター、京都第一赤十字病院、清仁会シミズ病院などで勤務してきました。特に、大学病院勤務時には、脳血管障害・脳腫瘍の手術のほとんどを執刀させていただき、知識・技術の習得に励んできました。

当院の特徴として、夜間・休日も脳神経外科医が24時間365日体制で診療にあたり、開頭手術と脳血管内手術いずれも、真夜中でも日中と変わらないスピード感をもって行うことが可能で、CT・MRI・カテーテル室・手術室も24時間使用可能です。また、特に脳卒中治療においては、質・量ともに大病院・大学病院以上であると思います。そして何より、当院の理念である「患者様ファーストの医療」を真に実践している病院であると感じています。



コイル塞栓術
矢野副部長(脳神経血管内治療学会 指導医)執刀
小林副部長、佐藤副部長 アシスト

日本脳血管内治療学会専門医
日本脳卒中学会専門医

本来我々医師は、理念として「病気を診ずして病人を診よ」と肝に銘じて医療を行っています。医療は本質的に不確実なものであり、重大な責任を負って患者様に接する日々は常に緊張を強いられ、実はストレスに耐える日々といっても過言ではありません。それでも、医学的知識や技術だけではなく、病む人を包む精神的包容力、診療の場での礼儀、人の痛みを知ろうとする心、忍耐力などが、より大切と考えています。ベルトコンベアに乗せて大量生産する製造業とは異なり、生身の人間が生身の人間と向き合う医療では、完全な規格統一は不可能ですし、すべきではありません。昨今、流行りのガイドラインやエビデンスはあくまで80点の指針であって、目の前の患者様にとって必ずしも100点であるとは限りません。その患者様にとって、本当にその検査・治療・入院などの「適応」があるのかを常に考えながら、日々の診療にあたるようにしています。

今後も真摯に、情熱をもって、「患者様ファーストの医療」を実践し地域医療に貢献していく所存であります。何卒よろしくお願いいたします。



クリッピング術
佐藤副部長 執刀
佐々木院長、長谷川名誉会長 指導



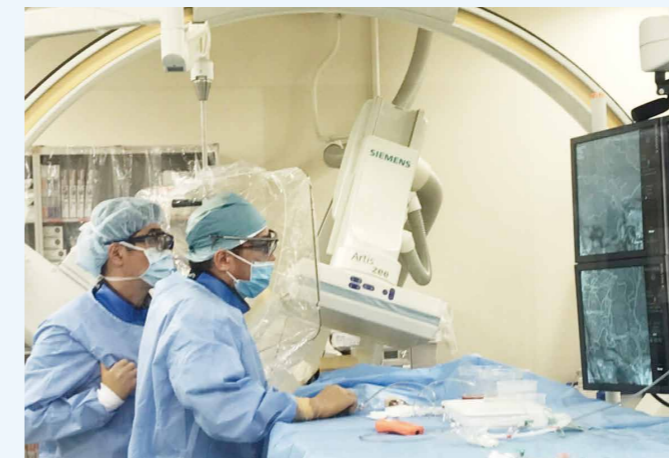
院長補佐
脳神経外科／脳血管内治療科 副部長
五味 正憲
出身大学：大阪大学
日本脳神経外科学会専門医 日本脳血管内治療学会専門医
日本脊椎外科学会認定医 日本脳卒中学会専門医

皆様、脳外科に行くとなると聞いてどんな印象を持ちますか？

私たちは診察室でお待ちしておりますが、多くの方はとても心配そうな顔をして、しかめ面です診察室に入ってこられます。「とても重い病気が見つかったらどうしよう」「頭の手術ってどんなものなのだろう」と心配されていると思います。

私たちの病院の場合、頭の病気が心配で来られた方のうち90%の方が脳の中に病気が見つからず、安心して帰っていただくことができいております。脳の検査が問題なく、ほっと安心された表情を見させていただくと、こちらもほっといたします。つまり脳外科に行くイメージを怖い場所からほっとできる場所に変えていただけたらと思います。

それでは、10%ほどの頭の中に何か見つかった方はどういたしましょう。見つかった方のまた90%ほどの方は治療を必要としません。いっしょに様子を見てゆきましょう。一人ひとり運動や生活習慣は異なると思います。見つかった病気についてどう付き合っていけばよいか一緒に考えてゆきましょう。



ステント留置術
五味副部長 執刀医
佐々木院長 指導 黒田先生 アシスト

では頭の中に何か見つかり治療を必要とする、最初からすると1%ほどの方はどういたしましょう。藍の都病院には佐々木院長のもと多様な技能を持った医師が集まっております。私は、4つの専門医の資格を持ち、アメリカでの経験があります。また当院は多くの病院の医師と連携し少しでも良い治療を提供することができる病院であると自負しております。現代では治療法はいくつもあることが多く、どの治療がご本人さんにあっているのか一緒に考えてゆきましょう。場合によってはほかの病院での治療を薦めることもあると思います。

病院は決して怖いところではありません。日本の医療では病院はかかりやすく、そして病気を早く発見し、手遅れになる前にどのように対処すればよいか一緒に考えてゆく場所であります。幸運を呼ぶといわれるイルカのマークの藍の都病院で皆様の健康で安心した生活のお手伝いができればと思っております。



脳神経外視鏡と脳神経内視鏡のDual併用手術
岩崎名誉院長 執刀
五味副部長 副執刀
佐々木院長、小林副部長 アシスト

新職位の スタッフ

理事長総務室 副室長 着任のご挨拶

令和3年4月より理事長総務室 副室長に着任いたしました津之浦です。

私は、社会医療法人医真会 八尾総合病院（八尾市）、公益財団法人唐澤記念会 大阪脳神経外科病院（豊中市）で医事課・総務課業務に従事し、医療法人すずらん会 ながしま脳神経外科リハビリクリニック（大阪市淀川区）の立ち上げに事務長として携わりました。立ち上げ準備期間に、永島宗紀理事長と佐々木庸理事長とのご縁で約7か月間藍の都脳神経外科病院 医事課長代行として勤務しました。

理事長総務室は、理事長不在時の代行業務や人事・施設管理・物品管理・経理・広報業務を担う法人全体の事務管理部門です。その責務を理解し、職員の皆様が安心して勤務いただき、法人内施設へ患者様・利用者様が安心してお越しいただけるよう、各部門と連携して業務を取り組んでいきたいと思っております。



理事長補佐
理事長総務室 副室長
津之浦 暁
(勤続1年目)

臨床支援課 スタートします

「患者様ファースト」の当院のモットーを実践していくために院長のリーダーシップの下、新部署 臨床支援課が2021年6月1日よりスタートしました。不束者ではございますが、私 寺田有希が主任を務めさせていただくことになりましたので、この場をお借りしてご挨拶させていただきますとともに、私たちクラーク（医師事務作業補助者）の業務をご紹介します。

クラークは、医師が臨床診療に専念できるように医師が行う事務的な業務をサポートする事務スタッフです。当院では外来診療や入院患者様の病状説明の際に、医師が患者様やそのご家族と目と目を合わせた対応ができるように、クラークが電子カルテの代行人入力や必要書類等の準備を行います。また、患者様とご家族が、医師とコミュニケーションを取れるように面談のスケジュール調整もさせていただいております。

医療クラークは、1920年代にアメリカで産声を上げ、1970年代にはその業務内容も確立されました。日本では2008年に制度が定義されたばかりで、未だ黎明期の職種です。日本国内においてクラークが国家資格（臨床支援士）として確立されることを目標に、NPO法人日本医師事務作業補助研究会が活動しております。この度、日本医師事務作業補助研究会大阪支部の世話人を僭越ながらも拝命いたしました。クラーク業務の日本での発展に、微力ながらも参加させていただけることに感謝するとともに、研究会での意見交換会や勉強会を通して、当院におけるクラーク業務の標準化を図りながら、日々の業務に生かしていきたいと考えております。

患者様と医師のコミュニケーションが十分図れるようにがんばって参りますので、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



臨床支援課 主任
寺田 有希
(勤続5年目)

藍の都の宝

勤務の長い スタッフ

診療情報管理士として 勤続10年目を迎えて

藍の都脳神経外科病院に2012年7月23日から入職させていただきました。

受付→病棟クラーク→診療情報管理士と経て、今現在も迷惑をかけながらも9年在職できているのも先生方やスタッフみんなのお陰だと思っております。また育児や子供の行事、急な勤務変更にも対応していただき本当に感謝しています。

日常業務は、直接患者様には関わることはいませんが、疾病統計や厚生労働省に提出するデータ作成、ベッドコントロール、カルテ管理などです。またシステムエンジニアと協力して電子カルテシステム・院内や関連施設のネットワーク・周辺機器・サーバー保守点検等行っております。

日々変化する医療環境・生活環境に対して、藍の都が目指す医療提供体制に少しでもお力添えができるように業務に励みたいと思っております。



医療情報室 主任
中川 和紀
(勤続10年目)

藍の都での勤務 9年を振り返って

私が当院に入職した9年前は、SCU（脳卒中ケアユニット）開設前で、急性期病棟も縮小して運用していました。現在は、急性期38床、SCU12床の50床に増床されました。

脳卒中とは、くも膜下出血、脳出血、脳梗塞の総称を意味し、SCUで集中治療を行います。

SCUは、3:1看護のため、看護師の増員も必要で、現在は46名在籍しています。私の入職時の2倍になりました。

9年間在籍中に急変対応に直面する事もありました。一連の処置が終わった後に症例検討を行い、出来なかった事を振り返ったり、疑問を解決し、次回に生かせるようスタッフに共有することを心掛け、個々の学びへ繋がっています。

これからも患者様ファーストの精神を心に刻み、自己研鑽に励んで参ります。



2階急性期病棟 主任
札野 富夕
(勤続10年目)

中国(四川省)出身の 看護師のご紹介

中国四川省出身の包潔(ほうけつ)と申します。中国で看護師として約5年間勤務した後來日し、藍の都に就職して日本の看護師免許を取得しました。藍の都で初の中国籍看護師としてSCU・急性期病棟に配属され今年で5年目を迎えます。

SCU・急性期病棟では、救急や手術前後の看護など超急性期看護を学ばせて頂き、目まぐるしい毎日に日々奮闘していますが、常にスキルアップできるよう目の前の一つ一つの仕事に真剣に向き合って頑張っています。

2019年6月には、中国杭州に佐々木脳卒中リハビリテーションセンターが開設した為、実務通訳のため約2ヶ月中国へ出張しました。私の通訳で、日本のリハビリ技術を中国の

患者様にも提供できたことがうれしく、日本と中国の懸け橋として国際貢献ができたと感じています。

看護部には同じ中国籍の看護師が10名在籍しており、お互いに助け合いながら働ける環境にも感謝しています。

現在はコロナウイルス感染症の事もあるので毎日大変なことも多いですが、これからも患者様のために何ができるか常に考えられる看護師でありたいと思います。



看護部
包 潔
(勤続5年目)

2015年に中国の看護師ライセンスを取得し、2016年来日後2018年には日本看護師国家資格を取得し看護師としてこちらで勤務させて頂いています。

1年目は急性期病棟で脳卒中急性期看護を学び、2年目からは回復期病棟で日々回復に向かっていける患者様の姿を目の当りにして心底嬉しく、それが仕事をする上でのモチベーションに繋がっています。

また、病棟業務以外にも中国圏患者様の外来・入院診療通訳や杭州脳卒中佐々木リハビリテーションセンター(2019年8月開院)出張での日本看護の相談や実務通訳などにも携わらせて頂いています。

昨年第一子を出産し、院長、師長はじめスタッフみんなに助けて頂き、出産ギリギリまで働いて最短(8ヶ月)で職場復帰することができました。

これからもハートのある藍の都で、「患者様ファースト」を合言葉に患者様に貢献できるよう努力し続けたいと思います。



看護部
雷 平
(勤続4年目)

杭州 レポート Report 1 半年ぶりに 日本に帰ってきました。

杭州・佐々木脳卒中回復センターにVIP専門病棟が開設され半年ほどが経ち、リハビリ部石橋主任の杭州業務へのご協力があり、日本に一時帰国することができました。今回の帰国で経験したコロナ禍での国際間の移動について報告したいと思います。

まず、中国滞在中に帰国3日前には中国国内でPCR検査を受け、陰性証明書を取得しました。日本政府指定の検査のみで、それ以外の検査方法では日本人でも入国拒否の対象になります。杭州から関西国際空港直行便がないため、早朝から上海へ移動して飛行機へ搭乗します。上海空港はとても大きい空港ですが、免税店はほぼ閉まっており、人もおらずかなり閑散とした状況でした。

日本到着後、すぐにPCR検査を行い、隔離期間中に使用する携帯アプリのダウンロードをします。PCR検査の陰性が確認できれば、公共交通機関は使用を禁止されているので、手配した移動手段で自宅に移動しました。14日間の隔離期間中は、空港でダウンロードしたアプリを

使用し、毎日位置情報の提供とテレビ電話への対応を義務付けられており、対応しない場合は実名公表されます。

通常であれば、14日間の隔離期間を終えればそのまま終了ですが、藍の都では特別に業務復帰前にPCR検査を行い、さらに陰性を確認してから業務の再開を行っております。

隔離期間中は外部との接触を控え、不要不急の外出は行わないようにするため、今回の隔離ではインターネットスーパーやUberEatsなどの宅配サービスを利用することが多かったです。

中国入国の隔離は、完全に14日間のホテル隔離のため、日本の隔離は自宅で過ごせる分ストレスは少なく感じました。

コロナ禍でストレスフルな状況ではありますが、患者様のためにしっかりと業務をしていきたいと思っています。



理事長補佐
杭州佐々木脳卒中
リハビリテーションセンター長
西岡 将
(勤続11年目)

杭州 レポート Report 2 はじめての中国

はじめての中国での生活で感じたことを報告させていただきます。

中国の方が日本に比べ、新型コロナへの対策がしっかり行われているように感じます。勤務する病院では、全職員に毎週でのPCR検査が実施されています。

毎日、通勤に利用する地下鉄では改札の手前で体温のチェックと健康を証明するQRコードの提示が求められます。マスクの着用も当然義務付けられており、そこを問題なく通過すると地下鉄を利用することができます。また、スーパーや飲食店でも同様の対策が行われており、毎回QRコードを見せることが義務付けられています。中国の仕組みの方が自由で、安心して生活できる仕組みになっているように感じます。

5月に中国に渡り、3週間の隔離を経て6月から杭州で勤務をしています。こちらでは、中国の法律の問題もあり、直接リハビリテーションを行うことができないため、現地スタッフへの指導が主な業務となっています。日本に研修に来たスタッフもいて、日本語も少しは分かってくれているようですが、ジェスチャーを交えて伝え、反応や表情から理解してくれているのかを探っています。少しでも患者様にとって意味のある介入が行えるよう現地スタッフと一緒に悪戦苦闘する毎日をご過ごしています。



左から 王智蕾、石橋征之主任(勤続10年目)、
豊田政和 副主任(勤続7年目)、西岡将センター長(勤続11年目)



リハビリテーション部 主任
石橋 征之
(勤続10年目)

パワ☆リハ

パワ☆リハは、当院1階にある短時間型（1～2時間）の通所リハビリテーションです。パワ☆リハは、介護認定（要支援1・2、要介護1～5）を受けており、当院にご通院されている方のみ、ご利用いただけます。

医療保険でのリハビリは原則最大180日間となっていますが、病状や疾患によっては180日間を超えても医療的リハビリが必要な方がいらっしゃいます。そのような方の中には、身体介護は不要だが、リハビリだけ継続して受けたいという方が多くいらっしゃいます。その様な方々に、より沢山お越し頂けるように短時間型で営業させて頂いています。身体介護が必要、もしくはより長い時間を使ってリハビリをしたいという方には、彩りの都デイサービスセンター（鶴見今津、城東永田）をお勧めしています。

パワ☆リハでは、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による専門的な個別リハビリテーションとマシントレーニング、反復経頭蓋直流電気刺激装置（tDCS）や末梢神経電気刺激装置（IVES・NESS・ESPURGE）など

の脳卒中に特化したリハビリテーション機器を行っています。

脳卒中治療ガイドライン2021で最も勧める脳卒中後痙縮治療として、ボツリヌス治療があります。パワ☆リハは、ボツリヌス治療を併用した脳卒中リハビリを得意にしています。脳卒中後痙縮とは筋肉のこわばりのことで、運動麻痺を呈される方の約7割で発生します。特殊な薬剤を使用し、専門的なリハビリテーションを併用することで効果があるとされています。当院は、このボツリヌス治療とリハビリテーションの併用療法で、国内トップクラスの実績があります。

ご利用をお考えの際は、藍の都脳神経外科病院パワ☆リハまでご相談ください。体験や見学も可能です。



パワ☆リハ
リハビリテーション部
副主任
窪田 源
(勤続5年目)



高知の田舎らしさを忘れずに

「高知県はひとつの大家族やき。」という言葉があり、一度出会えば家族のように親しく、あたたかさを持っており、人と人との繋がりを大切にしています。高知の最大の魅力は、自然豊かな場所や賑やかな光景がたくさん見られます。

一つ目は、日本で一番熱い祭りよさこい踊りです。浴道で観戦し高知の夏を感じてください。

二つ目は、高知県で一番有名な人物、坂本竜馬像がある桂浜です。太平洋を一望できる風景とSNSでプチ人気の桂浜水族館があります。

三つ目は、高知名物を多く取り揃えた「ひろめ市場」です。カツオのタタキやウツボのタタキ等、高知県特有の食文化を堪能できます。

初めまして、理学療法士の今西諒です。大阪に来て3年目を迎えました。高知とは違った都会の環境にも慣れ、仕事やプライベートでも充実しています。母校の先輩である君浦科長を始め、高知の先輩方には日々支えてもらいながら成長出来るように努めております。

リハビリテーション部
理学療法士
渡邊 将志

初めまして、理学療法士の今西諒です。土佐リハビリテーションカレッジ2期生の君浦科長がいると知り、先輩がいるなら安心して働けると思い就職しました。就職して5年目になりましたが、気づけば高知の後輩が2人就職し、切磋琢磨できる環境になっています。これからも院長のモットーである患者様ファーストの精神で頑張っていきます。

リハビリテーション部
理学療法士
今西 諒

初めまして、作業療法士の小松真直です。高知県で育った人柄を活かして大阪市鶴見区の土地で、脳卒中を患った患者様を中心とした方々にハートのあるリハビリテーションを提供しています。急性期医療から在宅に向けた取り組みや社会復帰を目指す方々に、日常生活動作訓練、物理療法を利用した介入を行っています。

リハビリテーション部
作業療法士
小松 真直



渡邊 将志 (勤続3年目) 今西 諒 (勤続5年目) 小松 真直 (勤続4年目)

高知はまっことえいとこやき、
いっぺん来てみいや。

(高知は本当にいいところなので、一度来てください。)

彩りの都デイサービスセンター鶴見今津

令和3年9月1日をもちまして「彩りの都デイサービスセンター鶴見今津」は開業6周年を迎えました。これもひとえに皆様のご厚情とご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。

鶴見区に開業させていただいて6年間、ご利用者様やご家族様をはじめ、関係各所の皆様とのご縁のおかげで様々な経験を積みさせていただき、多くのことを学ばせていただきました。社会医療法人ささき会では、地域の皆様のご病気をしたとしても生き生きと楽しみを持って過ごしていけるよう、医療・介護が切れ目なくサービスが提供できる体制を構築しています。

これからもスタッフ一同、力を合わせて日々努めていく所存ですので、『彩りの都デイサービスセンター鶴見今津』、そして『藍の都脳神経外科病院』を今後ともよろしくお願いたします。



理事長補佐
彩りの都デイサービスセンター
鶴見今津
センター長
岸 哲史
(勤続11年目)

彩りの都(サービス付き高齢者向け住宅)

サービス付き高齢者向け住宅とは、60歳以上の高齢者もしくは、日常的に見守りや介助が必要な要介護認定をお持ちの方がご入居頂ける有料老人ホームです。通常、介護や看護の費用で、介護保険のサービスを使い切る施設が多いですが、当法人ではリハビリサービスも積極的にご利用頂けるようにしています。入院リハビリを終えて、ご本人やご家族のご都合で直接ご自宅に戻れることが難しいケースなども、短期間でのご利用も可能ですので、お気軽にご相談ください。



理事長補佐
彩りの都介護事業部
統括責任者 兼
リハビリテーション部科長
君浦 隆ノ介
(勤続10年目)



彩りの都デイサービスセンター城東永田

デイサービスセンター城東永田では、母体である藍の都脳神経外科病院でも提供している「電気刺激療法」や「ロボティクスリハビリテーション」と「マシントレーニング」など、脳卒中に特化した介入を、退院後の生活においても、病院環境に近い環境で提供できるように取り組んでいます。また専任の作業療法士、理学療法士、言語聴覚士のスタッフが、個別プログラムを提供させていただいています。

利用者様の年齢は40歳代から90歳代まで幅広くご利用いただいております。身体、生活機能の維持、回復に皆様励んでいらっしゃいます。一足飛びの回復は困難ですが、利用いただいている皆様の後遺症からの回復希望を実現するために、スタッフ一同、一つずつ継続した取り組みを「協同」させていただければと考えています。



彩りの都デイサービスセンター
城東永田
センター長
唐渡 弘起
(勤続10年目)

藍の都ケアプランセンター

藍の都ケアプランセンターでは介護保険相談窓口として、介護保険制度についての説明や、要介護認定申請のお手伝いをさせて頂いています。依頼があれば担当ケアマネージャーとしてご利用者様、ご家族様の意向に沿い、自分らしく生きがいを持って在宅で生活出来るように支援させて頂いています。

また、医療ニーズの高い利用者様の対応も多く、入院中から医療と介護の連携を図り自宅へ帰るための必要なサービスの調整を行っています。

5名のスタッフは研修を通して自己研磨の機会を多く持ち、事業所内で課題のある方について毎日の様に事例検討を行う事で、より良い支援

が提案できるよう取り組んでいます。スタッフ全員が常に心掛けている事は丁寧な対応ときめ細やかな支援、寄り添う気持ちを忘れずに常に笑顔で仕事をさせて頂いています。



執筆者：下段中央
藍の都ケアプランセンター 主任
船谷 則子 (勤続7年目)

六甲山を歩く、走る

私の健康維持方法について少しお話ししたいと思います。私は10年ほど前からトレッキングとロードバイク(自転車)を始めています。それまでは父の影響で小学校2年生から30年以上硬式テニスを続けてきたのですが、様々な理由で切り替えました。

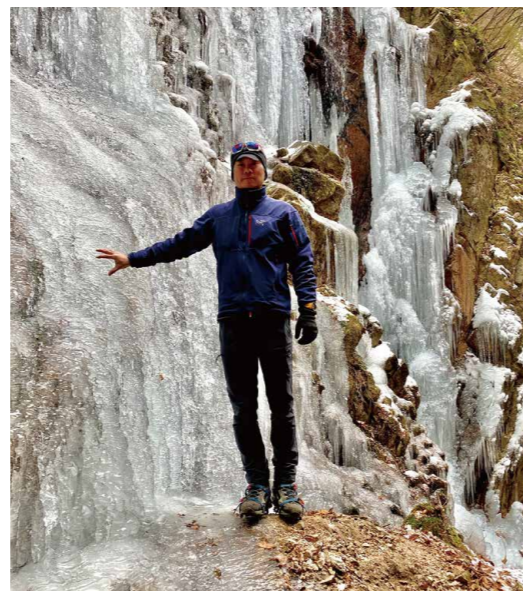
一番の理由は「左右非対称なスポーツは止めておこう」というものです。テニスのサーブでの体幹を傾けながら捻る動作は腰椎へはあまり良くありませんでした。ロードバイクは体幹を鍛えることもできます。

2つ目は場所と相手が必要なスポーツは継続しにくいということです。私は六甲ケーブルのある坂の町で育ったため六甲山愛が強く、山を観ていると心が落ち着きます。現在も六甲山の麓に住んでおり、トレッキングもロードバイクも自宅からスタートできます。実はロードバイクもほとんど六甲山を上るコースを走っています。

3つ目の理由は40歳台の体力を70歳近くまでは維持したいというものです。トレッキングとロードバイクはいずれもかなりの有酸素運動で心肺機能を高め基礎代謝を向上させます。また人間の身体の中で最も大きい筋肉が含まれる脚を動かすことで効率よくカロリー消費を行えます。

そのような理由で始めたのですが、楽しくてどっぷりハマってしまいました。自然を近く感じながら呼吸し体を動かし、ゴールでは素晴らしい景色を楽しむこともできます。それが高じて2009年から2017年まで毎年スイスにトレッキングに出掛けたり、2016年から2019年にかけては自転車を飛行機に載せてスイス、イタリア、スペインの山岳地帯も走ってきました。

早く世の中が落ち着いて素晴らしい自然と景色の中を歩いたり走ったりできることを望んでいます。皆様も継続しやすい運動を始めてみてはいかがでしょうか。



メディカルチェックスタジオ
大阪梅田クリニック
院長 鳴海 治
京都大学医学博士
日本脳神経外科学会認定 脳神経外科専門医
厚生労働省臨床指導医
日本脳卒中学会認定 脳卒中専門医・指導医
日本脳神経血管内治療学会認定 脳血管内治療専門医
脳卒中の外科学会 技術指導医

社会医療法人 ささき会 MRI・CT 画像検査
メディカルチェックスタジオ

大阪梅田クリニック

TEL 06-7777-1008
〒530-0001 大阪府大阪市北区
梅田1丁目12-6 E-ma 1階



各線「梅田駅」、
「大阪梅田駅」、
JR「大阪駅」、
JR「北新地駅」、
谷町線「東梅田駅」、
四つ橋線「西梅田駅」
⇒徒歩5分

スマート脳ドック 診療時間

月曜日～金曜日	9:00～18:00
土曜日・日曜日	10:00～18:00
祝日	休診

脳神経外科外来 診療時間

月曜日～金曜日	9:00～18:00
土曜日・日曜日	10:00～18:00
祝日	休診

病診連携でお世話になっている Drのご紹介



いわた脳神経外科クリニック
院長 岩田 亮一

脳神経外科 脳神経内科 外科
いわた脳神経外科クリニック
IWATA Neurosurgery Clinic

TEL 06-6935-2335
〒536-0007 大阪市城東区成育2丁目13番27号
クリニックステーション野江 1-B



◎京阪本線 『野江』駅・東側出入口から徒歩約4分
『関目』駅から徒歩約9分

◎JRおおさか東線『JR野江』駅・東口から徒歩約7分

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●
13:00～16:00	★	★	★	◇	/	/
16:00～19:00	●	●	●	◇	/	/

★…MRI検査 ◇…脊椎・しびれ外来
休診日：金曜午後・土曜午後・日曜・祝日

「安心、安全、痛くない」
無痛MRI乳がん検診の特徴



痛くない



見られない



被ばくがゼロ
だから安心



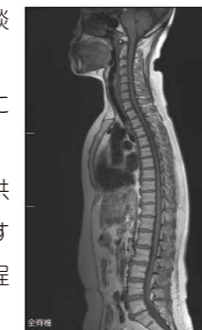
がん発見率が高い



豊胸術や乳房
の手術後も
検査可能



日本人の乳房に
適している
(高濃度乳房)



皆様、こんにちは。いわた脳神経外科クリニック院長の岩田亮一です。

2020年12月に藍の都脳神経外科病院より独立開業し、約9か月が経過いたしました。

頭痛、物忘れ、めまい、しびれなどを主訴にこれまで5300人以上の患者様がご来院されました。脳の病気は、様子を見てみると取返しのつかない状態になりうる場合がありますので、気になったらすぐに受診し検査することが重要と考えています。そのため、当院では開院以来、即日MRI診断で対応してきました。一見軽症に見えても中には、脳血管や頸動脈の重度狭窄や脳梗塞が見つかることがあります。その際は、病診連携先である藍の都脳神経外科病院で緊急入院や手術が行われ無事に回復された方もおられました。脳の治療は時間との闘いでもあります。検査だけでなく、病診連携を生かして今後も地域の皆様に貢献していきたいと思っております。

当院では、質の高い医療を提供するため、各分野エキスパートによるチーム医療を提供しています。医師は12名(脳外科専門医6名、内科専門医2名、女性乳腺外科医1名など)、臨床検査技師、放射線技師、管理栄養士、臨床心理士、看護師、事務員と総勢40名体制です。物忘れ外来では、MRIによる脳画像検査、脳波専門の臨床検査技師による脳機能評価、臨床心理士による詳細な脳機能評価、事務員による社会福祉サービスの説明などチーム医療で患者様やご家族のサポートを行っています。

脳卒中は予防可能な疾患です。動脈硬化の原因である高血圧、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病に対して管理栄養士による栄養指導や睡眠時無呼吸症候群に対するCPAP治療、禁煙外来なども積極的に治療を行っています。

頭痛診療では、頭痛難民を救済すべく最新の治療を導入しています。片頭痛の病態の根幹であるCGRPを標的とした新規治療薬は、他の予防薬では効果がなかった患者様において、頭痛の著明な改善を得られるようになりました。

MRI検査は放射線の被曝がなく、全身の隅々まで精密に評価できるため、当院では乳がん検診などもおこなっています。痛みはなく、Tシャツなど服を着たままで検査可能です。検査結果に関しては、女性乳腺外科医に相談可能です。

気になることがあればどうぞお気軽にお電話ください。

今後とも患者様により良い医療を提供できるよう職員一同日々研鑽して参りますのでどうか今後ともご指導ご鞭撻の程お願いいたします。

理事長ご挨拶



理事長・院長 佐々木 庸 いさお

主たる資格等

【医学部系資格】

日本脳卒中の外科学会技術指導医
 日本脳卒中学会指導医
 日本脳神経外科学会専門医
 日本脳神経血管内治療学会専門医
 日本ステミュレーション学会 理事
 日本ボツリヌス治療学会 理事

【経営学部系資格】

経営学修士
 (神戸大学経営学部大学院MBA)

10周年を迎えた現在、私達を育てて頂いた地域住民の皆様にもお役に立つべく勤続10年の中核スタッフをコアに次世代の若いスタッフも交えたチームで榎本会館のご好意で7月から連日300名近くの地域住民の皆様にワクチン接種を実施しています。

また勤続10年の矢野先生が日本脳神経血管内治療学会・指導医を取得されると共に新たに2名の若い脳神経外科医がチームに加わってくれました。これにより法人在籍の脳神経外科医は10名。また脳血管内手術専門医も6名(内、指導医一名)体制となり、脳卒中センターの東部地区での地域コア脳卒中センター(日本脳卒中学会認定)として脳卒中救急救命治療でしっかりと貢献して参りたいと考えています。どうぞ変わらぬご指導ご鞭撻の程お願い致します。

厚生労働省公式ホームページ内
 「医療施設の経営改善に関する調査研究(平成29年度)」
<https://goo.gl/7z7Zzc>



患者様ならびに 患者様ご家族の皆様へ

当院では医師やスタッフへの謝礼金のお受け取りは固くお断りしております。一方で当法人への寄付金については、理事長総務室を窓口にお受け入れをさせて頂いております。当法人のハートある医療提供への取り組みにご賛同ご支援いただけましたら幸いです。

社会医療法人ささき会 藍の都脳神経外科病院 院長

お問い合わせ先 理事長総務室 06-6965-1805(直通)

〈診療のご案内〉

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00 (受付 8:45~11:30)	○	○	○	○	○	○	△
14:00~17:00 (受付 13:30~16:30)	○	○	○	○	○	○	△

■診療日：月～土曜日(土は午前中診療)

■休診日：日曜・祝日・年末年始(12/30~1/3)

◎救急外来は24時間診療です。※診療科により異なる場合があります。

〈面会のご案内〉 平日 14:00~20:00 / 土日祝 11:00~20:00

ICU・SCU 14:00~15:00 と 19:00~20:00



社会医療法人 ささき会

藍の都脳神経外科病院

AINOMIYAKO NEUROSURGERY HOSPITAL

大阪市鶴見区放出東2丁目21番16号

Tel.06-6965-1800 FAX.06-6965-1600

URL: <http://www.ainomiyako.net>

・日本脳神経外科学会専門医研修プログラム連携施設(基幹病院:北野病院)

・日本脳卒中学会認定研修教育施設



相互連絡する駅

連絡する路線名

JR放出駅まで

●新大阪駅より電車で15分

●久宝寺駅より電車で15分 ●京橋駅より電車で4分